

日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2011 年 11 月

NO. 224

TOPICS

「～時代が求める社会的視点～」

「社会的責任」「社会への提供価値」「社会との関係性」

(社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 渡邊 幹夫

MESSAGE P3

「広報PRアカデミー2011 PRプランナー認定

3次試験対応講座 12月6日より開講」

ATTENTION P4

「第10回PRプランナー資格検定1次試験

受験予約開始は12月1日(木)から」

ATTENTION P7

「ソーシャルメディアポリシーに関する実態調査

アンケートのお願い」

ATTENTION P9

社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <http://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F

電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 森 健

11月号 目次

11月～12月のスケジュール		1
MESSAGE(メッセージ)	「～時代が求める社会的視点～「社会的責任」「社会への提供価値」「社会との関係性」	3
ATTENTION(お知らせ)	「広報PRアカデミー2011 PRプランナー認定3次試験対応講座 12月6日より開講」	4
〃	「広報PRアカデミー2011 マネジメントコース 11月よりスタート」	5
〃	「2011年度PRパ・ソン・オブ・ザ・イヤ・PRアワード・グランプリ・震災特別賞 今後の予定」	6
〃	「第10回PRプランナー資格検定1次試験 受験予約開始は12月1日から！」	7
〃	「PR会社検索(PR業インデックス)リニューアルのお知らせ」	8
〃	「ソーシャルメディアポリシーに関する実態調査アンケートのお願い」	9
BULLETIN(活動報告)	「第40回親睦ゴルフ会 開催報告」	10
〃	「広報PRアカデミー2011 スキルアップコース 実施報告」	11
〃	「第8回PRプランナー資格検定試験 PRプランナー認定面接試験を9月10日実施」	12
〃	「第3回広報活動研究会 開催報告」	13
〃	「第18回PRスキル研究会 開催報告」	13
REPORT(講演レポート)	「第134回定例研究会 開催レポート」	14
PRTREND(PRTレンド国内)	「企業メセナ協議会「メセナアワード2011」受賞発表」	15
〃	「ELTレンド指数で見る2011年9月度キーワード・ランキング」	16
PRTREND(PRTレンド関西)	「関西の風：毎日放送スタジオ見学会に参加して」	17
BOOKS(書評)		19
PLAZA(会員便り)	「ウェバー・シャントウィック・ワルドワイド(株) 企業のソーシャル・ブランド化を促進する9つの提言」	20
〃	「(株)ブラップジャパン 杉田敏氏が「中国ビジネスに失敗しない7つのポイント」を10月13日発刊」	22
〃	「山見博康氏が「広告をキャリアにする人の超入門」(共著)を9月30日発刊」	23
協会掲載記事	「PRSJ in Media」	24

表4

11月～12月スケジュール

広報PRアカデミー2011 「マネジメントコース」

●科目1 「広報・PRマネージャーの役割 と心構え①②」	日 時 会 場 講 師	11月2日(水) 18:30～21:00・8日(火) 19:00～21:00 六本木アカデミーヒルズ 49 (株)野村総合研究所 総務部長 柴山 慎一氏
●科目2 「広報・PR戦略マネジメント①②」	日 時 会 場 講 師	11月16日(水)・24日(木) 19:00～21:00(両日とも) 六本木アカデミーヒルズ 49 富士ソフト(株) 企画部 コーポレートコミュニケーション室長 井上 喜久栄氏
●科目3 「広報・PRマネージャーのための リスク・マネジメント」	日 時 会 場 講 師	12月7日(水)・14日(水) 19:00～21:00(両日とも) 六本木アカデミーヒルズ 49 田中危機管理広報事務所(株) 代表取締役社長 田中 正博氏
第19回PRスキル研究会 (PR業部会)	日 時 会 場 講 師 テーマ	11月17日(木) 17:00～18:30 (株)電通パブリックリレーションズ 8F会議室 中央大学法学部政治学科(メディア政策)講師 高石 憲氏 「医療分野のPR ～クライアントのニーズとメディアの狭間で～」
第24回広報学校(関西部会)	日 時 会 場 テーマ	11月17日(木)・18日(金) 9:30～17:00 中央電気倶楽部 「3・11以降、広報・PRはどう変わったか ～現状と課題」
第136回定例研究会	日 時 会 場 テーマ 講 師	11月25日(金) 12:00～14:00 六本木アカデミーヒルズ 49「カンファレンスルーム」 「「現場主義」で週刊誌報道をリードする「週刊文春」がめざすもの」 (株)文藝春秋「週刊文春」編集長 島田 真氏
企業部会フォーラム・ メディア研究会(企業部会)	日 時 会 場 テーマ 講 師	11月25日(金) 18:30～21:00 アークヒルズクラブ(アーク森ビル 37F) 「毎日新聞社 福本論説委員に聞く 「危機とメディア」、新聞とテレビの視点から」 毎日新聞東京本社 編集委員 兼 論説委員 福本 容子氏
広報活動研究会(企業部会)	日 時 会 場	11月29日(火) 15:00～ NTTグループ本社 見学研修
講演と忘年懇親の夕べ	日 時 会 場 講 師	11月30日(水) 18:30～21:00 クルーズクルーズ THE GINZA 日本経済新聞東京本社 編集局総務 原田 亮介氏
PRアワードグランプリ 最終審査会・表彰式	日 時 会 場	12月5日(月) 13:00～18:00 六本木アカデミーヒルズ 49「オーディトリウム」

11月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（11 月度）	日 時	： 11 月 9 日（水） 12：00～14：00
	場 所	： 六本木ヒルズクラブ
組織委員会（11 月度）	日 時	： 11 月 17 日（木） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
国際委員会（11 月度）	日 時	： 11 月 18 日（金） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
教育委員会（11 月度）	日 時	： 11 月 2 日（水） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
広報委員会（11 月度）	日 時	： 11 月 30 日（水） 14：00～16：00
	場 所	： 協会会議室
出版委員会（11 月度）	日 時	： 11 月 16 日（水） 17：00～19：00
	場 所	： 協会会議室
顕彰委員会（11 月度）	日 時	： 11 月 15 日（火） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
資格制度委員会（11 月度）	日 時	： 11 月 24 日（木） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
企業部会幹事会（11 月度）	日 時	： 11 月 4 日（金） 16：30～18：30
	場 所	： 協会会議室
PR業部会幹事会（11 月度）	日 時	： 11 月 17 日（木） 15：00～17：00
	場 所	： (株)電通パブリックリレーションズ 会議室
IT委員会（11 月度）	日 時	： 11 月 4 日（金） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室

～時代が求める社会的視点～ 「社会的責任」「社会への提供価値」「社会との関係性」

(社)日本パブリックリレーションズ協会
理事 渡邊 幹夫

広報に携わり 6 年目となり、日本 P R 協会の理事も 2 年目となりました。その中で、グローバルな社会経済構造や価値の変化に伴い、最近頃に「社会的視点」の重要性を感じています。

一つ目は、全てにとってのグローバルな「社会的責任」です。

企業という枠組みから、地域社会、国家、さらにはグローバルへと視野を広げると、そこに違った視界が開けてきます。「グローバル」という語は、日本では広がりとしての「世界的な」という意味で使われていることが多いように思いますが、本来的な、地球という一つの共同体を表す「地球全体の」の方が相応しいと思っています。

世界人口が本年 70 億人となり、2050 年には 90 億人を超えると予想されています。新興国や発展途上国においては人口増加と格差の拡大、大気汚染や環境破壊、資源の乱獲などが課題となっており、先進国においては高齢化・成熟化や金融不安などが懸念されています。このような時代の中で、企業の C S R (Corporate Social Responsibility 企業の社会的責任) が社会全般の S R (Social Responsibility 社会的責任) に広がり、グローバルな課題である「持続可能な発展」への手引として、「I S O 26000」という形でまとめられていったのは必然といえるでしょう。

二つ目は、企業の「社会への提供価値」です。

この先は企業の存在意義として「社会への提供価値」が、より強く問われていくことになると思います。先に述べたグローバル視点から地球全体の「持続可能性」を考えると、これまでの「企業は利益をあげるべきもの」という前提と、マーケティング上での「競争戦略」だけでは、行き詰まりが見えてきます。必要とされるのは、グローバル社会との調和だと言えます。企業は株主、顧客、取引先、従業員、地域社会など様々なステークホルダーとの関係の中に存在しているわけで、端的に言えば今後は、「株主価値」と「社会的価値」双方を高めていくことが「企業にとっての価値」を高めていくことになると思います。日本にはもともと、「共通善」や近江商人の「三方良し（売り手良し、買い手良し、世間良し）」の考えが根底にあるので、その精神をグローバルに活かしていけば良いと思います。

三つ目は、広報の「社会との関係性」です。

広報は現状では、「P R」という略語とともに宣伝に近い意味で使われることも多いと思います。広報の原義は*「Public Relations」であり、本来的には「組織と組織を取り巻く人間（個人・集団・社会）との望ましい関係をつくり出すための考え方および行動のあり方」であります。それは、「C S R」は企業がステークホルダーとの良好な関係性 (Relationship) をつくりあげるための考え方であり活動であると同様に、「広報」も情報発信先のメディアだけではなく、あらゆる企業や団体・組織、社会との関係性と活動とを意味します。企業内においても、組織を活性化させるために、広報が触媒となって機能を果たすことが重要だと考えています。このように、広報活動では原点に立ち返った「関係性創り」の重要性がさらに増してくると思います。

※ P R 手帳 2012 p.166 参照

当協会は「Public Relations」を通じて、公益法人として、一個人や一企業だけでは実現できない社会的課題や要請に対して取り組んでいきたいと考えています。ぜひ、協会への積極的なご意見と活動への参加をお願いいたします。

PRプランナー認定3次試験対応講座

12月6日より開講

教 育 委 員 会

協会では、来る12月6日より来年1月17日まで6回にわたり「広報PRアカデミー2011」の一環として、「PRプランナー認定3次試験対応講座」を六本木・アカデミーヒルズにて開講いたします。本講座は、PRプランナー認定3次試験の内容となるニュースリリースの作成や広報・PR計画の立案法について6回にわたる講義と実習を通じて集中的に習得することを目的としており、3次試験の受験準備として最適です。

2007年に発足したPRプランナー資格認定制度は、年々広報・PR関係者の間で評判を高めており、試験には多数の受験者を集めています。今秋にPRプランナー資格の取得者は1,100人をこえ、企業や団体の広報・PR部門、PR及びPR関連会社などにおいて活躍しています。

PRプランナー資格認定試験における最難関となるのが、受験者の実務能力を検定する3次試験です。3次試験では多くの受験者が涙を飲み、度重なる挑戦を続ける受験者の数も決して少なくはありません。効果的な受験準備を求める声に応え、教育委員会で開講したのが本講座であり、受講者は高い合格率を誇っています。

本講座では、プレスリリースの作成、マーケティング分野における広報・PR計画の企画立案、コーポレート分野における広報・PR計画の企画立案について、いずれも2週にわたる講義と演習を通して合格に不可欠な知識と技能を身に付けることができます。

なお、遠隔地等の会場外からの受講、講義データのアーカイブによるオンライン再履修が行えるライブストリーミング「Watershed（ウォータージェット）」による受講サービス（視聴期間限定）もあわせて提供いたします。

第9回 3次試験の実施を控え、教育委員会では下記の要領にて本講座を開講します。合格をめざす皆様の受講をお待ちいたします。講座の詳細と受講申込みは以下URLの協会Webサイトをご参照ください。

http://event.prsj.or.jp/event/prp/3rd_exam

■PRプランナー認定3次試験対応コースの概要

日 程	講座テーマ	講 座 概 要	講 師	受講料	申込締切
12月6日・ 12月13日	「合格する ニュースリ リースの作 成法」	課題に基づくプレスリ リースの作成に必要な知識、ス キルを学ぶ	田代 順 氏 (株)ミラ・ソル/代 表取締役	会場受講 + Watershed 視聴 日本PR協会会員 社員 31,500 円 PRプランナー (准・ 補) 取得者 42,000 円 一般 47,250 円 Watershed 視聴のみ	会場受講 + Watershed 視聴 12月2日 (金) まで Watershed 視聴のみ 11月29日 (火) まで
12 月 20 日・ 1 月 5 日	「広報・P R企画の立 案作成 (マ ーケティング 分野)」	マーケティング課題に基づ く広報・PR計画の企画立 案に必要な知識、スキルを 学ぶ	赤坂幸正 氏 (株)インテグレー ト/ダイレクター	一般 47,250 円 Watershed 視聴のみ	
1 月 10 日・ 1 月 17 日	「広報・P R企画の立 案作成 (コ ーポレート 分野)」	コーポレート課題に基づ く広報・PR計画の企画立案 に必要な知識、スキルを学 ぶ	岡本純子 氏 ((株) 電通パブリックリ レーションズ/シ ニアコンサルタント)	会員・PRプラ ンナー・一般とも 31,500 円	

※日本PR協会会員社員の受講料は法人正会員社員、もしくは個人正会員ご本人様のみとなります。

広報PRアカデミー2011

「マネジメントコース」11月よりスタート 一科目受講の申し込み受付継続中！

教 育 委 員 会

「広報PRアカデミー マネジメントコース」が11月2日より、六本木アカデミーヒルズで開講されます。

本コースは広報・PRに関するより専門的な知識や実務スキル、考え方を高いレベルで体系的に習得できる「広報PRアカデミー」の上級講座です。のべ12回の講座で、経営と連動した広報戦略・計画の立案からリスク・コミュニケーション、ブランディング、CSR、IR、そしてネットの効果的活用法まで幅広い分野における広報・PRの最新動向を学ぶことができます。

講師には大学教授などの有識者、広報・PRの現場で活躍する実務の専門家、広報・PRマネージャーにご登壇いただき、精通した分野から講義をいただきます。広報・PRに対するより高度な内容の習得をめざす方をはじめ、広報・PRマネージャーとして活躍を志す皆様に最適な講座です。

本講座は科目別の受講が可能のため、引き続き「一科目受講」の申し込みを受け付けています。各講座の詳細及び受講申込方法については、以下のURLをご参照ください。

<http://event.prsj.or.jp/event/upper>

日 程	時 間	講座テーマ	講 師	締 切	受講料 (税込)
11月2日	19:00 ～ 21:00 (11月2 日のみ 18:30 に 開始)	広報・PRマネージャーの役割と心構え① ② (講義と演習)	株式会社野村総合研究所 総務部長 (前広報部長) 柴山慎一 氏	1科目 受講： それぞ れ開講 日前 週の金 曜 日まで	1科目受講 [講座1～ 講座4] 各 18,900 円 [講座5～ 講座8] 各 9,450 円 (会員料金の適用は、 法人正会員社員、も しくは個人正会員ご本人様のみ)
11月8日					
11月16日		広報・PR戦略マネジメント ① ② (講義と演習)	富士ソフト株式会社 企画部 コーポレートコミュニケーション室長 井上喜久栄 氏		
11月24日					
12月7日		広報・PRマネージャーのためのリスク・マネジメント ① ② (講義と演習)	株式会社田中危機管理広報 事務所 代表取締役社長 田中正博 氏		
12月14日					
1月25日		広報・PRマネージャーのためのマーケティングとブランドのマネジメント① ② (講義と演習)	中央大学 大学院 戦略経営研究科 教授 田中 洋 氏		
2月1日					
2月8日		CSR活動と連携した広報・PRマネジメント (講義)	帝人株式会社 広報IR室長 宇佐美吉人 氏		
2月22日		広報・PRマネージャーのためのIRマネジメント (講義)	東レ株式会社 IR室長 神山健次郎 氏		
3月7日		広報・PRマネージャーのためのグローバル広報マネジメント(講義)	筑波学院大学 経営情報学部 教授 大島慎子 氏		
3月22日		広報・PRマネージャーのためのWebとソーシャルメディア活用マネジメント (講義)	クロスメディア・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役 雨宮和弘 氏		

2011 年度 「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」・ 「PRアワードグランプリ」・「震災特別賞」 今後の予定

顕 彰 委 員 会

「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」は顕彰委員会で候補者を選出し、10 名に絞り込み、11 月 4 日に会員投票のご案内をいたしました。

投票の際には、今年一年(平成 22 年 11 月～平成 23 年 10 月まで)を振り返り、話題性や好感度、発想の斬新さなどの観点から、経済活動、文化・スポーツ、社会・教育などの分野でパブリックリレーションズに貢献した人物、PR パーソンにふさわしいと思われる候補者に投票ください。

会員の皆さまからの投票をもとに、顕彰委員会で候補者を決定し(11 月 15 日)、12 月度理事会で承認され、ご本人のご快諾をいただいた候補者を、平成 24 年 1 月 18 日(水)の「新年懇親会」席上で表彰する予定です。

今年は、3・11 の東日本大震災、その後の原発事故関係で広報・PR の視点から、あるいは被災者支援などの面で顕著な活動を行った企業・団体・個人を選出し、「震災特別賞」を贈りますが、顕彰委員会及び会員推薦の結果を受けて、11 月度の委員会で候補者を絞り込み、最終候補者を決定します。12 月度理事会で承認され、ご快諾をいただいた候補者・団体を、平成 24 年 1 月 18 日(水)の「新年懇親会」席上で表彰する予定です。

また、「PRアワードグランプリ」は 10 月 31 日(月)、作品のエントリーを締め切り、部門審査に入ります。部門審査は各部門(コーポレート・コミュニケーション部門／マーケティング・コミュニケーション部門／ソーシャル・コミュニケーション部門／イノベーション部門)5 名の審査員で構成され、部門ごとに一同に会し、エントリーシート及び添付資料を基に審査します。

審査のポイントは、「課題の重要度または難易度・課題解決のための戦略性または独創性・目標に対する直接的成果及び間接的成果・活動内容の専門性または完成度・社会的または業界的影响力」です。この部門審査で最終審査会へ通過する各部門 3 作品が決まります。

最終審査は部門審査通過作品(12 作品予定)のプレゼンテーションによる審査で、12 月 5 日(月)六本木アカデミーヒルズ 49「オーディトリウム」で行われます。

審査は外部から特別審査員(2 名)と各部門審査委員長(4 名)及び会員・一般審査員(公募 40 名)で行い、グランプリ 1 作品、最優秀部門賞 4 作品、優秀賞 7 作品を決定します。

表彰式は最終審査会終了後、同会場にて引き続き行います。グランプリ受賞の表彰式のみ来春 1 月 18 日(水)開催の「新年懇親会」の席上で行う予定です。

会員審査員の公募は、11 月下旬に事務局からご案内しますので、ぜひご応募ください。会員の代理者の応募でもかまいません(今年は 1 社から 2 名に審査権が与えられます)。

当初、最終審査会で予定しておりました Ustream でのライブ配信ですが、準備の都合等と取りやめることとなりました。ご了承ください。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

＜第 10 回PRプランナー資格検定 1 次試験＞

受験予約開始は 12 月 1 日(木)から！

資格制度委員会

第 10 回 P R プランナー資格検定 1 次試験の受験者募集受付を、12 月 1 日（木）の午前 10 時から開始いたします。

今回は定員制（東京会場：400 名、大阪会場：80 名、福岡：80 名）となっておりますので、受験を予定されている会員社員の皆様には、早目のお申込みをお勧めいただければ幸いに存じます。併せて、受験の促進につきまして、引き続き皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、1 次試験の試験日は、2012 年 3 月 4 日（日）（会場：東京、大阪、福岡）となります。

詳細は、日本 P R 協会の資格制度専用ホームページ（<http://pr-shikaku.prsj.or.jp/>）をご覧ください。

＜第 10 回 P R プランナー資格検定 1 次試験 受験予約受付期間＞

12 月 1 日（木）午前 10 時～2012 年 1 月 13 日（金）

※定員に達し次第、締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

＜第 10 回 P R プランナー資格検定 1 次試験 受験申込書送付期間＞

12 月 2 日（金）～2012 年 1 月 20（金）必着

＜募集定員＞

東京会場：400 名／大阪会場：80 名／福岡会場：80 名

※福岡会場の実施最少催行人数は 20 名となります。

＜実施スケジュール＞

1) 1 次試験:2012 年 3 月 4 日（日）実施

東京会場：明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー（東京都千代田区）

大阪会場：毎日インテシオ（大阪市北区）

福岡会場：福岡建設会館（福岡市博多区）

※福岡会場での実施最少催行人数は 20 名となります。

2) 2 次試験：2012 年 5 月中旬実施（予定）

試験会場：東京・大阪

3) 3 次試験：2012 年 7 月下旬実施（予定）

試験会場：東京・大阪

＜受験申込方法＞

当協会ホームページの「P R プランナー資格制度」から W E B 上で申込となります。

PR会社検索(PR業インデックス) リニューアルのお知らせ

P R 業 部 会

このたび協会ホームページ内のPR会社検索（PR業インデックス）がリニューアルし、10月28日から運用を再開しております。
変更点を下記のとおりとし、使いやすい検索システムといたしました。

- ① 検索機能に特化し、これまでの『PR会社年鑑』の発行と『コンペ情報』サービスは中止。
- ② これまで参加社にお任せしていた共通フォームの会社紹介のページを無くし、検索システムから直接
参加社のホームページにリンク。
- ③ これまで 30,000 円だった参加費を無料。

今回のリニューアルに伴い、新たにPR業インデックスに登録いただいた会社は 59 社です。
PR会社を検索する際に、ご活用いただけましたら幸いに存じます。


 社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
 PR会社・企業広報の発展のために

文字の大きさ 小 **中** 大

- ホーム
- 日本PR協会について
- セミナー・イベントの参加
- PRプランナー資格制度
- 協会刊行物
- 調べる
 - パブリックリレーションズとは
 - 2011年 広報・PR業界実態調査報告書
 - PRアワードグランプリ
 - PRJ パーソン・オブ・ザ・イヤー
 - PR会社検索**
 - PR用語ミニ辞典
 - PR関連団体
 - 企業の文化施設
- お問い合わせ／その他

平成 23 年度
PRアワードグランプリ
 エントリー受付中 10/31まで

広聴PRアカデミー 上級コース
「マネジメントコース」
 (11/2～8科目12日間) 申込受付中

PR会社検索

PR会社検索 —新PR業インデックス—

協会の登録会員社の中から、条件に沿った会社を探します。
※検索結果は登録会員社名の50音順で掲載されます。
(2011年11月末まではテスト期間のため、随時変更をさせていただきます。)

検索項目

会社名から探す

会社の業種から探す ※いずれか1つのみご選択いただけます

☐ PR業／総合PR
 ☐ PR業／コーポレートPR
 ☐ PR業／マーケティングPR
 ☐ PR関連業／市場調査
☐ PR関連業／モニタリング
 ☐ PR関連業／イベント
 ☐ PR関連業／制作
 ☐ PR関連業／プレスリリース配信

本社及び支社の所在地から探す ※複数ご選択された場合、いずれかに該当する企業がすべて抽出されます

☐ 首都圏・関東
 ☐ 北海道
 ☐ 東北
 ☐ 甲信越・北陸
 ☐ 東海・中部
 ☐ 関西・近畿
 ☐ 中国・四国
☐ 九州・沖縄

得意としている業務から探す ※複数ご選択された場合、いずれかに該当する企業がすべて抽出されます

☐ パブリシティ
 ☐ 記者発表
 ☐ タイアップ
 ☐ ネットPR
 ☐ カスタマーリレーションズ
☐ インベスターリレーションズ
 ☐ 社内コミュニケーション
 ☐ 教育・研修
 ☐ 危機管理対応
 ☐ メディアトレーニング
☐ CSRコミュニケーション
 ☐ 行政・自治体コミュニケーション
 ☐ 海外コミュニケーション
 ☐ 社会調査

ソーシャルメディアポリシーに関する実態調査 アンケートのお願い

— I T 委 員 会 —

昨今、ソーシャルメディアを利用する企業・団体は益々増え、適切なガイドラインの整備が求められております。そこで、当協会 I T 委員会では、会員各社の参考となるべく「協会の定めるソーシャルメディア利用ガイドライン（仮称）」の制定にあたり、事前に皆様にアンケートを実施し、その結果に基づき、より実務的なガイドラインを作成いたします。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮でございますが、皆様のソーシャルメディアのご利用状況等につきまして、下記WEBアンケートにご回答の程、お願い申し上げます。

また、アンケート結果につきましては、I T 委員会にて集計し、当協会ニュース等で発表させていただきます。

<ソーシャルメディアポリシーに関する実態調査アンケート>

■アンケート回答期限

2011 年 11 月 18 日（金）まで

■アンケートフォーム（こちらからお願いいたします。）

<https://39auto.biz/pr-shikaku/touroku/socialmediapolicy.htm>

お手順をお掛けいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

※アンケート集計後、ご協力いただきました方々へ結果をご報告いたします。
※法人会員の方は、代表者1名にてご回答ください。

ソーシャルメディアポリシーに関する実態調査アンケート	
御社において、Twitterの公式アカウントを運用されていますか？	☐ 運用している ☐ 運用を予定している ☐ 運用する予定はない ☐ その他
御社において、Twitterの個人アカウントの使用を許可されていますか？	☐ 許可している ☐ 許可を予定している ☐ 許可していない ☐ その他
御社において、facebookの公式アカウントを運用されていますか？	☐ 運用している ☐ 運用を予定している ☐ 運用する予定はない ☐ その他
御社において、facebookの個人アカウントの使用を許可されていますか？	☐ 許可している ☐ 許可を予定している ☐ 許可していない ☐ その他
御社において、mixiの公式アカウントを運用されていますか？	☐ 運用している ☐ 運用を予定している ☐ 運用する予定はない ☐ その他
御社において、mixiの個人アカウントの使用を許可されていますか？	☐ 許可している ☐ 許可を予定している ☐ 許可していない ☐ その他
上記以外で公式アカウントを運用されているソーシャルメディアがございましたら、お教えてください。	
上記以外で個人アカウントの使用を許可されているソーシャルメディアがございましたら、お教えてください。	
公式アカウントを運用している、または運用を予定していると答えになった方へ、公式アカウントの数をお教えてください。	1
☐ 広報部門	

会 員 限 定**第 40 回親睦ゴルフ会 開催****組 織 委 員 会**

2011 年度「秋季ゴルフ懇親会」を 10 月 26 日（水）、総武カントリークラブ総武コース（中コース→西コース）にて、開催しました。同コースは 1998 年から 2003 年まで、サントリーオープンゴルフトーナメントの開催地となった日本でも有数の戦略性の高い名門コース。また、4 月にリニューアルされたクラブハウスもあり、とても綺麗なコースでした。

当日は 3 組 12 名の会員が参加されました。

参加者の皆様、大変お疲れ様でした。

広報PRアカデミー2011

「広報PRアカデミー2011 スキルアップコース」

3 講座を 10 月に実施

教 育 委 員 会

教育委員会は、「広報PRアカデミー2011 スキルアップコース」3 講座を六本木アカデミーヒルズにて開講しました。10 月 5 日には「プレスリリースの作成」、10 月 12 日には「実践メディアリレーションズ」、そして 10 月 19 日には「緊急時対応/模擬記者会見」の講座を実施、一般企業、PR 及び PR 関連の企業に所属する多くの広報・PR 関係者が協会内外から受講しました。

「スキルアップコース」は、広報・PR の業務に欠かせないスキルの飛躍的な強化を目的とした実務講座です。日常的な広報・PR の業務で最も基本となるプレスリリースの作成や取材を中心としたメディア対応法、また事故などの緊急事態発生時におけるメディア対応の心構えやポイントについて、4 時間の集中的な講義と演習を通じて効果的に習得することができます。



模擬記者会見の様子

10 月 5 日の第 1 回「プレスリリースの作成～ヒットするプレスリリースはこう書け！」では、(株)ミラ・ソル 代表取締役の田代 順氏が講師を担当、プレスリリースの役割や基本的な書き方、記者に注目させる書き方のポイントやメディア特性などについて解説しました。実際に発行されたリリースや広報・PR 活動の事例を素材としたケーススタディ、そして課題のもとにリリースの見出しなどを立案するグループ演習を実施し、受講者は効果の上がるプレスリリースの作成法について理解を深めました。

10 月 12 日には、「実践メディアリレーションズ～メディア取材の仕掛けと対応」では、(株)ハーバーコミュニケーションズ 代表取締役の五十嵐 寛氏が登壇しました。メディア対応に関する楽しい小テストやクイズを題材とした楽しい演習を通じメディア対応の基本ルールを解説、また課題のもとに記者発表の計画を作成するグループワークなどが行われました。さらに、毎日のニュース報道に携わっている現役報道関係者がゲスト講師として登場、厳しさに溢れる報道現場の現状や広報・PR パーソンへの期待に触れ、受講者の注目と関心を集めました。

10 月 19 日の「緊急時対応/模擬記者会見～クライシス・コミュニケーション」には、井澤リスクマネジメント事務所 所長の井澤 幹夫氏が講師を担当しました。緊急事態におけるメディア対応のポイントについて解説、グループワークでは受講生が記者や企業側のスポークスパーソンに分かれて模擬記者会見を行いました。ふだん経験することのない緊急記者会見の雰囲気を体験した受講者は、緊急時における広報対応の難しさを受け止めていたようです。

スキルアップコースは基本的な広報・PR 業務のスキルを高める効果的な研修として、人気の高い実務講座です。教育委員会では、受講者の意見やカリキュラムを検討し、さらに充実した講座の開催をめざします。

第 8 回 P R プランナー資格検定試験

P R プランナー認定面接試験を 9 月 10 日実施 120 名の P R プランナーが誕生し、累計 1109 名に！

資格制度委員会

今年 7 月に実施された第 8 回 P R プランナー資格検定 3 次試験の合格者 120 名の方が、9 月に行われた認定面接・審査を経て、P R プランナーの資格を取得されました。

ここに、長期間にわたるご奮闘に敬意と祝意を表してご氏名を公表させていただきますとともに、今後のさらなるご研鑽とご活躍を期待いたします。

また、ご協力いただきました面接官の皆様、および関係者の皆様、大変ありがとうございました。



<第 8 回 P R プランナー 所属別プロフィール>

	P R 関連 会社	一般企業 (広報・ P R 関連 部署)	一般企業 (その他 の部署)	各種団体	教育機関	自治体・ 行政機関	その他	全体
男性	28 人	27 人	3 人	1 人	1 人	2 人	3 人	65 人
女性	20 人	29 人	1 人	0 人	1 人	1 人	3 人	55 人
合計	48 人	56 人	4 人	1 人	2 人	3 人	6 人	120 人

<P R プランナー 年齢別プロフィール>

	男性	女性	合計	%
20 代	19 人	30 人	49 人	40.8%
30 代	25 人	15 人	40 人	33.4%
40 代以上	21 人	10 人	31 人	25.8%
合計	65 人	55 人	120 人	100.0%

<第 1～8 回 P R プランナー 累計所属別プロフィール>

	P R 関連 会社	一般企業 (広報・ P R 関連 部署)	一般企業 (その他 の部署)	各種団体	教育機関	自治体・ 行政機関	その他	全体
男性	245 人	273 人	37 人	3 人	10 人	17 人	28 人	613 人
女性	181 人	253 人	28 人	5 人	5 人	10 人	14 人	496 人
合計	426 人	526 人	65 人	8 人	15 人	27 人	42 人	1109 人

<第 1～8 回 P R プランナー 累計年齢別プロフィール>

	男性	女性	合計	%
20 代	102 人	125 人	227 人	20.5%
30 代	290 人	272 人	562 人	50.7%
40 代以上	221 人	99 人	320 人	28.8%
合計	613 人	496 人	1109 人	100.0%

会 員 限 定

第 3 回「広報活動研究会」開催報告
森ビル(株) 見学研修

企 業 部 会

9 月 28 日（水）企業部会「第 3 回広報活動研究会 森ビル(株) 六本木ヒルズ森タワー見学会」を六本木ヒルズ森タワーにて開催いたしました。森ビルの様々な広報活動について、広報室長にご講演いただいた後、六本木ヒルズ内の見学実施しました（屋上の田んぼ、震災用備蓄倉庫など）。当日の参加者は 27 名。

第 18 回 P R スキル研究会
「事例に学ぶ緊急事態のメディア対応」
～PR会社の役割と課題～

P R 業 部 会

第 18 回 P R スキル研究会を、9 月 21 日（水）開催しました。講師は(株) a r e x 代表取締役 江良 俊郎氏、テーマは「事例に学ぶ緊急事態のメディア対応 ～PR会社の役割と課題～」。当日は台風の中、33 名が参加しました。

会 員 限 定**第134回定例研究会****日本の朝を HAPPY にする日テレ「ZIP！」
「朝の帯番組をたちあげる」という“事業”
～「テレビ」をつくるという挑戦～**

講師：日本テレビ放送網株式会社

情報エンターテインメント局

チーフプロデューサー **福地 聡氏**

第134回定例研究会を9月22日(木)、六本木アカデミーヒルズ49「カンファレンスルーム」で開催しました。講師は日本テレビ放送網(株) 情報エンターテインメント局 チーフプロデューサー 福地 聡氏。テーマは「日本の朝を Happy にする日テレ『Zip!』」。

参加者は94名で、回収されたアンケート結果は好評でした。

企業メセナ協議会「メセナアワード2011」受賞発表 メセナ大賞は、千島土地(株)(大阪府) ～「北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想」 創造的なまちづくりへの挑戦

公益社団法人 企業メセナ協議会（理事長：福地 茂雄氏、アサヒグループホールディングス(株) 相談役）は、10月4日、芸術文化の振興に貢献した企業・財団を顕彰する「メセナアワード2011」の受賞企業を発表しました。

同アワードは、1991年に創設され、今年が21回目の開催です。受賞は、芸術・文化の振興に高く貢献した企業・財団のメセナ活動を対象とする「メセナ大賞部門」と、芸術・文化の振興並びに地域活性化や次世代育成に関わるメセナ活動を対象とする「文化庁長官賞部門」から成り立っています。今回は、両部門を合わせ94件（88社・団体）の応募があり、外部の専門家で構成される審査委員会が選考に当たりました。各賞の受賞企業・財団名と活動内容は、以下の通りです。

【メセナ大賞部門】

- メセナ大賞 千島土地(株) [大阪府]
「北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想」
～創造的なまちづくりへの挑戦
- 酒唄里づくり賞 朝日酒造(株) [新潟県]
「酒蔵を核とする自然保護・文化活動」
- 演劇ともしび賞 大阪ガス(株) [大阪府]
「OMS戯曲賞による関西の演劇文化支援」
- 動く技術遺産賞 トヨタテクノミュージアム 産業技術記念館 [愛知県]
「産業遺産の保存とモノづくり文化の伝承」
- 文化の枕木賞(公財) 東日本鉄道文化財団 [東京都]
「東日本における地域文化支援」
- 解体新生賞 油機エンジニアリング(株) [福岡県]
「古民家の修復保存と活用」

【文化庁長官賞部門】

- 文化庁長官賞 六花亭製菓(株) [北海道]
「50年にわたる月刊児童詩誌『サイロ』の発行」

※参考【審査委員会委員名】(敬称略)

逢坂恵理子（横浜美術館長）、木下直之（文化資源学、東京大学教授）、小沼純一（音楽・文芸批評、音楽文化論、早稲田大学文学学術院教授）、白石美雪（音楽評論、音楽学、武蔵野美術大学教授）、扇田昭彦（演劇評論家）、中谷巖（三菱UFJリサーチ&コンサルティング理事長、不識塾塾長）、鷲田清一（哲学者）、福地茂雄（企業メセナ協議会理事長）

*文化庁長官賞部門の選考には文化庁担当者が審査委員会に参加。

※上記は、企業メセナ協議会のプレスリリース（2011/10/4）から紹介しました。

http://www.prsj.or.jp/wp-content/uploads/2011/10/release_2011_10_04_award1-1.pdf

問い合わせ先：企業メセナ協議会（TEL：03-3213-3397 FAX：03-3215-6222 広報担当

E-mail: mecenat@mecenat.or.jp URL: <http://www.mecenat.or.jp/>

ELトレンド指数で見るキーワード・ランキング 2011年9月度

㈱エレクトロニック・ライブラリーは、2011年9月度の「話題のキーワード・ランキング」を発表しました。

これは、9月に発行された新聞96紙・雑誌約100誌のうち、「ELNET」に登録されているキーワード約263万語のヒット数の増減を数値化した「ELトレンド指数」等をもとに「一般キーワード」と「企業キーワード」に分けて分析したものです。

「一般キーワード」と「企業キーワード」のTOP10は以下の通りです。

■ 2011年9月度 EL一般キーワード TOP10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	11.22	東日本大震災	6位	5.19	除染
2位	7.34	原発事故	7位	5.01	避難者
3位	7.07	野田政権	8位	4.79	放射性セシウム
4位	5.56	復興増税	9位	3.76	施政方針演説
5位	5.53	復興財源	10位	3.75	臨時増税

■ 2011年9月度 EL企業キーワード TOP10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	2.21	欧州金融安定基金	6位	1.61	ECB
2位	2.06	東京書籍	7位	1.58	JT
3位	1.96	東京電力	8位	1.57	北海道電力
4位	1.73	欧州中央銀行	9位	1.52	イー・アクセス
5位	1.70	グリー	10位	1.51	安愚楽牧場

※ELNETホームページでは毎月の発表を週刊にバージョンアップした上で、「ELウィークリートrend」として毎週水曜日に発表しています。
詳細は以下ご参照ください。

<http://www.elnet.co.jp/el/trend/index.html>

<コラム 関西の風>

第 210 回定例会・毎日放送スタジオ見学会に参加して

(株)オズマピーアール関西支社
田中 千里

関西支部の第 210 回定例会として、開局 60 周年を迎えた毎日放送のスタジオ見学会が 10 月 20 日（木）に行われ、関西支部会員 35 名が参加しました。

同社 6F の報道スタジオは、ニュースサブとスタジオを同フロアに隣接し、突発的なニュースにも対応できます。スタジオでは、実際にアナウンサーがニュースを読むデスクに、参加者が入れ替わり立ち替わりで座り、手元の原稿とプロンプターで正面に映し出される原稿を確認。アナウンサーが正面だけを見てニュースを伝えるのは、この設備あってこそ。同時に自分がどのように映し出されているかも確認できました。

また、実際に気象予報士が天気概況を伝える天気図は、スタジオでは緑色の大きな壁面！関西各地に設置のお天気カメラ映像と重なれば、さながらお天気キャスターになります。当日はサプライズで、毎日放送お天気キャスターの今出さんと記念撮影でき、感激しました。この模様は何と隣のニュースサブで多くの参加者にチェックされていたのでした…… 大人の社会見学はこれにて終了。



次は会場を移し、同社コンプライアンス室広報部長の岸本氏と、元大丸松坂屋広報マネージャーの高橋氏による、「テレビメディアの使い方 ぶっちゃけトーク」と題し、「VOICE」（夕方のニュース枠）でオンエアされた「あの老舗百貨店が激安スーツを販売」の特集企画事例についてのレクチャーとなりました。

2 着 29,000 円のスーツを大丸が販売する、という、一見ニュースでは取り上げられにくいと思われるネタを、いかに広報が企画デスクに提案したのか。

- ・なぜそんな安い商品を販売するのか（業界動向、トレンド、他店競合情報含む）
- ・なぜそんなに安いのか（中国の工場で閑散期に大量発注、商品の仕様を工夫等、業界では当たり前だが一般視聴者は知らないカラクリを見せる）
- ・オンエア時のストーリーを描き、主人公を決める（事例では紳士服担当バイヤー）
- ・取材者が取材しやすいように映像等を提供する、社内調整を徹底する

提供された情報は、取材を経て尺は約7分のドラマとしてオンエアされました。視聴者は販売に際して試行錯誤するバイヤーの苦労や、本当に良いものかどうか、映像を介して判断するのです。それが即、実際の購買行動につながり、この格安スーツは予算の1.5倍の販売実績を叩き出したそうです。

岸本氏が繰り返し説かれた、おもしろいネタは必ず社内にある。社内・業界で通例、常識であることを一般視聴者は知らない。知ることによって得られる視聴者と企業のメリット、企画デスクへの情報提供方法など岸本氏のレクチャーは白熱し、その後の懇親会も非常に密度の濃いものとなりました。

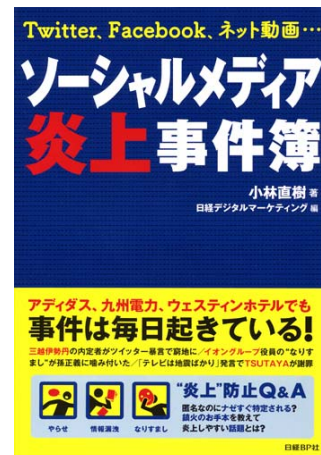
今回お話いただいたことは、経験者による事実と実績そのものであり、即広報活動に活かせる貴重な会となりました。

レクチャーをいただいた両氏ならびに、PR協会の奥谷氏に感謝いたします。
ありがとうございました。

『ソーシャルメディア炎上事件簿』

小林 直樹：著 日経デジタルマーケティング：編 日経BP社：刊（2010年8月）p198
価格 1,400+税

企業のソーシャルメディアの活用が高まる一方で、従業員がツイッターなどで個人的に不用意に発信した情報が炎上すると共に、発信者の勤務先が特定されて企業へのクレームが押し寄せ、企業トップが謝罪するという事件が多発している。本書は、企業がこうした思わぬ被害を受けぬための教訓を国内外の事件を教材として示している。第1章は、従業員の発信が炎上した最近の実例集、2章は、これまでの炎上事件を6つに分類し、どのような話題や発言が炎上の対象となるかについての分析、3章では、炎上防止のための知識と対策をQ&Aスタイルで企業編と個人編として解説している。さらに炎上した後の適切な鎮火対策についても米国のドミノ社等の成功事例について詳説している。12年間にわたり炎上事件を取材してきた著者の目は行き届いている。



『「想定外」を想定せよ』～失敗学からの提言

畑村洋太郎：著 NHK出版：刊（2011年8月）p148
価格：1,000円+税

本書は「失敗学」のパイオニアである著者が、さまざまな失敗事例の科学的・工学的な考察を踏まえ、「想定外」の事故や失敗が起こる要因を分析し、想定漏れを防ぐための対策や、突発的な事件・事故への対処法までを解説したものである。原点は「想定とはなにか」を認識することであり、その上で「想定外」への対処が可能になる。「なぜありうるものが想定外となってしまうのか」というメカニズムの考察や、「制御安全」の前に「本質安全」を考えることにより突発的な事故による悪化を未然に防げる、など適切な提言がなされている。同時収載の東日本大震災前後の実地調査を踏まえた「三陸海岸見聞記」も貴重だ。



『日本企業にいま大切なことは!』(PHP新書)

野中郁次郎／遠藤 功：共著 (株)PHP研究所：刊（2011年9月）p212
価格：720円+税

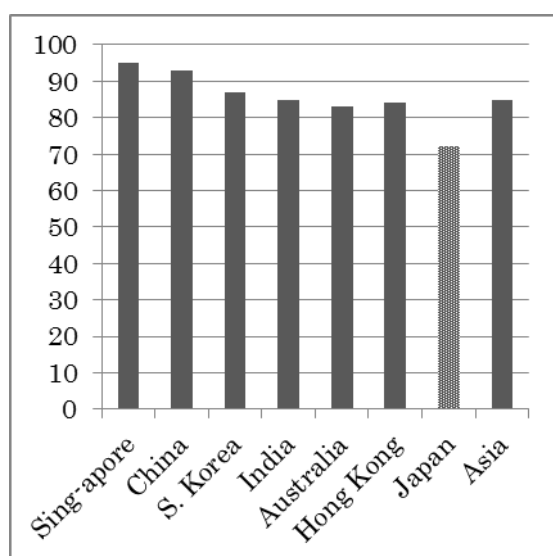
本書は著名な経営学者と経営戦略家が、日本人自身が忘れた「日本の強みを自覚せよ」という視点から日本の価値を語り合う刺激的な対談集である。論点は多岐にわたるが、アメリカの世界的企業は、いまやアメリカ型経営には懐疑的であり、日本では当たり前の「共同体経営」、「現場の暗黙知」が注目されていることは主要な論点である。これまで、情緒的、非効率、ガラバコスと言われ、論理的・科学的経営を信仰してきた日本企業が本来の価値に目覚め、改めて世界に日本を売り込むためのテキストと言える。



■ 会員便り

企業のソーシャル・ブランド化を促進する 9 つの提言 ～ 企業のソーシャルメディア利用に関する実態調査から ～

法人正会員のウェバー・シャンドウィック・ワールドワイド(株) (代表取締役社長 久保 明彦) の本社 (米国・ニューヨーク) とフォーブス・インサイト社は、企業ブランド構築におけるソーシャルメディアの活用について、欧米、アジアなど世界 6 地域 50 カ国で売上高上位企業のシニア・エグゼクティブ 1,897 名を対象に 2011 年 3-4 月に調査を実施した。本調査の結果、企業ブランドのブランド・ソーシャビリティ (ソーシャルメディアを活用したブランド構築) を促進する、9 つの提言を発表した。



大手グローバル企業の中で、ソーシャルメディアを利用したブランド戦略を持っている企業は、アジア諸国では 8 割を超える中、日本企業は 72% で 7 位。

1. ブランドは単なるメディアに留まてはいけない：メッセージ発信以上のことをせよ

世界トップ・クラスのブランドは、45% が、ソーシャルメディア向けに特化したコンテンツを開発している。また、世界トップ・クラスのブランドは、単なるメディアに留まるのではなく、ブランド自体のソーシャル化 (ソーシャルメディアを通じたブランド構築) を推進している。

2. ブランドをソーシャル化せよ

世界トップ・クラスの企業は、自社独自のソーシャルメディア・ツールを、平均的なグローバル企業に比べ、より効果的に適用している。世界トップ・クラス企業はブランド関連モバイル・コンテンツを提供している割合が、平均的な企業に比べ 1.44 倍多く、「チェックイン」機能を有するポータル・アプリに参加している割合は同 1.43 倍、プロキシミティ・マーケティング (特定のエリアのターゲットに対して、携帯端末などに無作為に情報を伝達するマーケティング) を実践している割合は同 1.41 倍、自社ブランド化した YouTube チャンネルの保有率は同 1.40 倍、それぞれ多いという傾向を示している。

3. 統合化できなければ後はない

世界トップ・クラスの企業において、すべてのソーシャルメディアおよび従来型メディアのチャンネルを通じて一貫性のあるブランド・パーソナリティを保有している割合は、その他の企業に比べて約 2 倍程多いことが分かった。従来の印刷媒体や電波媒体によるメッセージ伝達においてもソーシャルメディアを要素として含める傾向が非常に高くなっている。

4. ソーシャル・コントロールを怠らない

世界トップ・クラス・ブランドの 61% が、ソーシャルメディア専門のストラテジストまたはマネージャーのポストを設けている。ある世界トップ・クラス・ブランドの担当責任者は、「最も重要なことは、すべてのチャンネルを通じてソーシャルメディア活動の計画を中央集中化し、主要メッセージを何倍にも増幅することだ」と回答した。

5. 話し上手より聞き上手であれ

世界トップ・クラスの企業は、顧客に伝える自社メッセージを消費者に最適化し、消費者心理を取りまとめて、ブランド・ストーリーに取り込んでいる。ファンの提案等に基づいて製品やサービスを変えたという割合は、平均的なグローバル・ブランドに比べ、ほぼ2倍。

6. 重要なことは、エンゲージメント（関わり合い）の意味

世界トップ・クラス企業は、その他の企業に比べ、ソーシャルメディアの効果を測定する際にソーシャルメディアを利用するコントリビューターの数の方をより重視している。

7. グローバルに考える

世界トップ・クラスのブランド担当責任者は、グローバル・リーチを、企業評判を牽引する要因として、顧客サービスと同様に重要と捉えている。

8. 自社の実態を知るために外に出る

世界トップ・クラスの企業では、平均的な企業に比べてほぼ2倍の割合で、社外サポートを起用して自社ブランドのソーシャル・パフォーマンスを評価している。

9. 用心を怠らない

自社のソーシャル・ブランドの健全性を保護するために、世界トップ・クラスのブランドは、常に注意を払っている。「ウィキリークスが話題になってから警戒している」と回答した世界トップ・クラスのブランドは、（平均的な企業に比べ）1.85倍、プライバシー侵害問題を懸念しているとの回答は1.58倍だった。

※この件に関するお問い合わせは下記にお願いします。

ウェーバー・シャンドウィック株 助川／尾脇

TEL : 03-5427-7341 / Email: HSukegawa@webershandwick.com

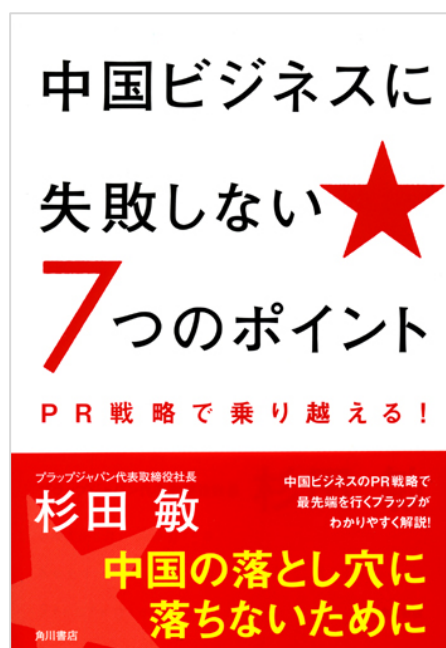
法人正会員の㈱プラップジャパン 代表取締役社長 杉田 敏氏が 「中国ビジネスに失敗しない7つのポイント PR戦略で乗り越える！」を 10月13日発刊

法人正会員の㈱プラップジャパン 代表取締役社長 杉田 敏氏が「中国ビジネスに失敗しない7つのポイント PR戦略で乗り越える！」を10月13日角川書店より発刊いたしました。

激しく急激に変化を続ける中国は、日本企業にとって魅力的な成長市場であると同時に、非常に難しい市場でもあり、これまでも数多くの日本企業が様々な問題に直面しています。その1つに、中国が見えない落とし穴の多い国であるといえます。

本書では、日本のPR会社として最も早く中国現地法人を設立したプラップジャパンが、現地での14年にわたる豊富なコミュニケーション・サービス提供の実体験を基に編み出した「中国ビジネスで失敗しないための法則」をPR戦略を軸にわかりやすく解説しています。特にめまぐるしく変化する中国メディアに関する最新の知見を網羅すると共に、中国におけるコミュニケーション戦略の展開事例、反日メッセージやタブーへの対処、危機管理広報のノウハウなど、詳しく紹介しています。

中国で営業活動に携わる企業、中国と取引のある企業の方々、今後中国へ進出される企業の方々はもちろん、中国駐在になる可能性のあるビジネスパーソンにも広く本書をお読みいただき、さらなる中国ビジネス展開のための一助になればと考えております。



<書籍概要>

『中国ビジネスに失敗しない7つのポイント PR戦略で乗り越える！』

著 者：杉田 敏

発 行：角川書店（2011年10月13日発売）

体 裁：四六版、本文292ページ

価 格：1,600円（税別）

I S B N：978-4-04-885099-5

※この件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

㈱プラップジャパン 広報・IR室 清宮

TEL：03-3486-6036／Email：ir_info@ml.prap.co.jp

個人正会員Bの山見インテグレーター(株) 山見博康氏が 著者の1人として参加した「広告をキャリアにする人の超入門」を 9月30日発刊

個人正会員Bである山見インテグレーター(株) 代表取締役 山見 博康氏が、著者の1人として参加した「広告をキャリアにする人の超入門 ～広告・広報の基礎から発想法、ネット広報まで～」を9月30日に発刊しました。

今、広告の枠組み自体が変わろうとしています。メディア、コミュニケーション、市場、生活者の構造変化の中で広告も変化してきており、従来の理論の踏襲では通用しない時代を迎えています。そこで、知識を集約した、体系的・網羅的なテキストではなく、できる限り最新の理論や発想法を取り入れ、広告の変化と将来の方向性が示唆できる内容を目指しました。

本書は、かなり専門的な内容をわかりやすく解き明かし、平易に表現したもので、広告分野への入門書として学生や社会人にとって大いに役立つものに仕上がっています。執筆者7名は、実務者及び実務経験者が大半で、それぞれその道のプロフェッショナル・広告・広報のエキスパートです。

東日本大震災後、メディアの構造変化の中で、新しい広告作りが求められています。多くの人たちが従来の枠組みにとらわれない、新しい広告作りに参加されることを願い、そのような志を持った人たちに役立てていただきたいと思います。



＜書籍データ＞

『広告をキャリアにする人の超入門』

編 著：湯浅正敏（日本大学 法学部 教授 新聞学科広報広告コース専任）

著 者：井徳正吾（文教大学 情報学部 広報学科 教授）

岩井義和（日本大学 法学部 助教 公共政策学科専任）

桶谷 功（(株)インサイト 代表取締役／日本大学 法学部 非常勤講師）

永松範之（デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株) 広告技術研究室 マネージャー）

南 勲（(株)Q P リサーチ 代表）

山見博康（広報PR・危機対応コンサルタント／九州大学特別講師、
日本大学・名古屋文理大学・大妻マネジメントアカデミー非常勤講師）

出版社：三和書籍

発行年月：2011年9月30日

価 格：2,500円（税別）

※この件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

山見インテグレーター(株) 山見 博康

TEL：03-4360-5424／Email：yamami@yico.co.jp

PRSJ in Media

●10月1日（土）『月刊広報会議』11月号、p.123

広報・PR関係者を主な読者対象とする『月刊広報会議』で、2011年度の「PRアワードグランプリ」のエントリー募集が取り上げられました。

記事では、「PRアワードグランプリ」の趣旨と概要が紹介され、今回のエントリーの審査部門、審査体制、応募締切など募集の要項、あわせて昨年的小林製薬株式会社によるグランプリ受賞などについて紹介されています。

●10月20日（土）『企業と広告』11月号、p.17

当協会が来年実施する「第10回PRプランナー資格認定検定試験」の受験者募集の概要について掲載されています。

記事では、1次から3次にわたる試験のスケジュールや概要、1,109人に達したPRプランナー資格の取得者総数、そして受験申込み先となる協会ホームページのURLなどが紹介されました。

2011年度 広報PRアカデミー実施要項

コース	コース・コンセプト	対象者レベル	実務経験年数	講座名	講座コンセプト	時期	期間
入門・基礎コース	広報・PRに関する基本的な知識やスキルを習得させ、上司や先輩の指導のもとに業務を遂行できる基礎的な実務能力を育成する。	PR会社や広報セクション等に入社、配属された新任もしくは経験の浅い広報・PR業務の担当者。	0～2年	広報・PR入門講座	講義や演習、ケーススタディの紹介等の多彩なカリキュラムを通して広報・PRに関する基本的な知識やスキルを総合的に習得する基礎講座。	4月中旬	全日/5日間連続
中級コース	日常的に生ずる広報・PRの課題に、自身の判断で適切かつ効果的な対応を行うことができる、より高度な実務能力を育成する。	上司や先輩の助言なしに日常的な業務を遂行できる能力を有する担当者。	2～5年	メディアリレーションズ集中講座 (旧 広報PR実務講座)	新聞、雑誌、テレビ、ネット系メディアの第一線で活躍する現場キーマンを講師に招き、それぞれのメディアの特性、方針、業務や体制の実際や記者へのアプローチ法等に関するアドバイスをいただき、多様なメディアへの対応能力の向上をはかる実務講座。	7月	半日/2日間(午後～夜間)
			3年以上	スキルアップ・コース	ニュースリリースの作成、日常的なメディア対応、非常時におけるメディア対応等、現場実務の担当者のメディア対応能力の強化をはかる技能養成講座。	10月	半日/3日間
上級コース	広報・PRの実務を通じて経営者や上司を補佐するとともに、グループをマネジメントして組織的かつ計画的に企業・団体の広報・PR業務を推進できる能力を育成する。	経営や事業における課題を認識しその解決に向けて自身の判断で広報・PR業務を遂行できる能力を有する担当者。	5年以上	マネジメントコース	大学教員等の学識者や現役の広報マネージャー、各分野のスペシャリストを講師に招き、講義や演習を通じて広報・PR業務マネジメントに必要な幅広い知識、スキル、考え方を体系的に習得する広報・PRマネージャー養成講座。	11～3月	各120分/隔週12回(夜間)
PRプランナー試験対応コース	広報・PRに関する知識やスキルを習得させ、PRプランナー資格認定・検定制度試験を合格できる実力を育成する。	広報・PR業務に興味を持ち、PRプランナー試験の合格をめざす者。	0年～(学生可)	1次試験対応講座	PRプランナー1次試験合格をめざし、テキストをベースに広報・PRに関する基本的な知識、考え方を習得する講座。	7～8月/1～2月	各150分/週一5日間(夜間)
			3年以上	3次試験対応講座 (旧 広報ジュニア・カレッジ)	PRプランナー3次試験合格をめざし、実務にも役立つニュースリリースの作成法、広報・PR計画の立案法を高度なレベルで習得する講座。	6～7月/12～1月	各150分/週一6日間(夜間)

※詳細につきましては、順次当協会ホームページ (<http://www.prsj.or.jp>) で発表いたします。

※カリキュラムは変更する場合があります。ご了承ください。

(社)日本パブリックリレーションズ協会
tel. 03-5413-6760 fax. 03-5413-2147